

長い滑り台は自慢の一つです



吉田小6年生
あかね 山田朱音さん

吉田小学校のいい所を三つ紹介します。一つ目は、種から花を育てていることです。学年を縦割りにした「なかよし班」で役割分担をして、花作りをしています。育てた花は、入学式や卒業式の会場を飾ったり、お世話になっている地域の方にあげたりしています。花で地域とつながっています。

二つ目は、全学年が仲が良いことです。なかよし活動では、高学年が低学年を思いやりながら大縄



▲学校の南側の斜面にある長い滑り台

跳びやドッジボールをやっています。また休み時間は、みんなでサッカーや雪合戦をして遊びます。

三つ目は、とても長い滑り台があることです。滑るとすごく楽しいです。PTAの方たちが階段も造ってくれてうれしかったです。

てサッカーを楽しむ姿は、一つの家族そのものです。
地域が学校を支える
年々、学校と地域、子どもと地域が疎遠になる中で、この地域は大切なものが昔から失われずに受け継がれています。地域の皆さんは、一年

間を通していろいろな形で学校や子どもを支えています。
夏、運動場が草で覆われ、児童や教職員の草取りだけでは取りきれないところ、地元の老人クラブの方々朝早くから来校。総動員で草を取っていただけます。秋には、校区の農家の方の自宅で行う、収穫したばか



▲吉田小学校の自慢を紹介する児童たち

山間地の小規模校

吉田小学校は、自然に恵まれた山間地にある小規模校です。全校児童は51人。4年生と5年生が複式学級の5学級で学んでいます。学校の教育目標は「あかるく、かしく、たくましく」。三つの合言葉にこころこ吉田っ子「いきいき吉田っ子」「すくすく吉田っ子」を設けて、それぞれ、あいさつや掃除、発表や読書、運動や遊びなどの活動に力を入れて取り組んでいます。

特色の一つは花作り

特色ある活動の一つに、四季折々の花々を花壇や鉢植えにして育てていることがあります。土作りから種まき、仮植えから定植、毎日の水やりまで、全ての作業を児童自らの手で行っています。花作りを通して、「継続することの大切さ」「協力することの大切さ」「命の大切さ」など、多くのことを学んでいます。また自ら育てた鉢植えの花は、お世話になった地域の方々へプレゼントし、「感謝の気持ちの大切さ」も育んでいます。

全校児童が1家族

人数が少ないので、何をするにしても学年の壁を越えて、全校一丸となって取り組んでいます。1年生から6年生、男子も女子も一緒になっ

りの米での餅つきに招待していただけます。臼と杵を使った昔ながらの餅つき体験を児童全員で味わうことができます。
四季を通して、「見守り隊」の皆さんに子どもたちの登下校を見守っていただいています。朝夕の温かい声掛けに、子どもたちも元気をもらっています。

イメージソングを作成

平成24年には、児童らが学校の特徴などを出し合って作られた、学校のイメージソング「大きな空の下で」が完成。その年の明智かえでホールで行われた「ふるさととうたの日」カーニバルで、市民に披露されました。伝統ある校歌とは一味違った自分たちの歌として、児童たちに親しまれています。



明治6年	吉良見に鴻鱗義校を設立
明治8年	鴻鱗学校と改称
明治15年	吉良見学校と改称
明治19年	吉良見尋常高等小学校となる
明治31年	吉良見、大泉、大田、阿妻の4校が合併し、吉良見に吉田尋常小学校を設立
明治34年	高等科を設置
明治41年	新校舎完成
昭和16年	吉田国民学校と改称
昭和22年	吉田村立吉田小学校に改称
昭和27年	中学校を併設し、吉田村立吉田小中学校に改称
昭和30年	吉田村が明智町に合併し、明智町立吉田小学校に改称
昭和49年	中学校統合のため、小学校のみとなる
昭和54年	現在地に新校舎が完成
昭和63年	歯の優良学校表彰(小規模校)を受賞
平成11年	子ども銀行「表彰、FBC花壇奨励賞を受賞
平成13年	FBC「春・秋」花壇奨励賞を受賞、トトロの森完成
平成16年	市町村合併のため、恵那市立吉田小学校に改称
平成18年	地域と連携した花フェスタの取り組みが「ひびきあい」の市表彰を受賞
平成19年	人権の花作りを通じた人権推進の取り組みで、岐阜県方法務局から感謝状が授与される
平成23年	市教育委員会「ICT活用授業推進」委託校となる。県人権同和教育協議会「ひびきあい賞」を受賞
平成26年	明智小学校に編入統合のため、閉校(予定)

学校の歴史は141年

日本最初の近代的学校制度を定めた教育法令の「学制」が公布された翌年の明治6年、吉田小学校の前身の鴻鱗義校が旧吉良見村の雲祥寺を仮校舎として創立されました。その後、明治8年ごろには「鴻鱗学校」、明治31年には「吉田尋常小学校」、昭和16年には「吉田国民学校」などと名称が変わりました。最初に「吉田小学校」になったのは、終戦後、教育基本法と学校教育法が公布された昭和22年でした。昭和27年から昭和49年までは、小学校に中学校が併設されていました。その後、以降は、現在の形で運営されてきました。現校舎は、昭和54年に建築されたものです。



▲旧吉田小学校の棟瓦



▲吉田小での花の苗の植え替え作業

多くの交流の機会を計画

伝統や歴史が違う学校が一つになるには、乗り越える課題がいくつもありません。より円滑な統合に向けて、学校では、この一年間を準備期間と位置付け、さまざまな取り組みをしてきました。中でも、最も大切な人間関係。少しでも友達づくりの切っ掛けとなるように、本年度は明智小学校の児童との交流を例年より多く行ってきました。

交流は、全校で行うものと、学年単位で行うものがありました。その一部を紹介します。

●合同児童集会（6月20日）

明智小学校で行われた両校の初めての交流会です。互いの学校を紹介したり、全員で歌を歌ったりして、気持ちを一つにしました。学年ごとの交流も行い、ゲームや合唱交流

●**合同児童集会**（6月20日）
 明智小学校で行われた両校の初めての交流会です。互いの学校を紹介したり、全員で歌を歌ったりして、気持ちを一つにしました。学年ごとの交流も行い、ゲームや合唱交流

●**歌の共有**
 6年生は、年間を通して同じ歌を共有して、それぞれの学校で練習。交流会の都度、合唱の交流をしました。2月25日(火)に行う合唱交流会では、卒業式の歌を歌って交流します。

●**教職員の交流**
 両校の教職員の交流も行いました。研究授業などを参観し合うなど、互いの学校や子どもたちの様子を理解するように努めてきました。

●**校舎探検**（9月19日）
 明智小学校を2年生が訪れ、校舎を探検しました。案内は、明智小学校の児童が務めました。吉田小学校の児童たちは、違いをたくさん見つけ、驚きました。

●**美浜研修**（6月27〜28日）
 両校の5年生が一緒に愛知県知多郡美浜町の研修に出掛けました。海という普段では味わえない環境で、魚つかみや海水浴を楽しみながら、2日間仲良く過ごしました。

仲間が増えることが楽しみ

6年生になると、同じクラスでがんばっていく仲間が増えることが楽しみです。5年生の美浜研修と一緒に行動した吉田小学校の子と毎日過ごせるようになります。他の学年にも仲間が増えて、たくさんの違う歳の子と活動ができることも楽しみです。



明智小5年生 和田実夏さん

大勢でサッカーをしたい



吉田小4年生 伊藤良英さん

吉田小学校の楽しい思い出は、みんなでサッカーや仲良く遊びをしたことです。明智小学校に通うようになったら、今よりもっと友達が増えると思います。大勢でサッカーやドッジボールなどをするのが楽しみです。本をたくさん読むことも楽しみです。

なじみある学校の閉校は寂しい



明智町吉良見 伊藤伸一さん

子どもたちの通学時の見守り活動を始めて21年。今では全員の子と顔見知りです。笑顔であいさつを交わします。自分も卒業したなじみある学校が閉校になるのは寂しいですが、学校や子どもたちには、いろいろ教わり、自分自身も成長できました。

吉田小、141年間ありがとう

吉田小学校が閉校することになり、さまざまな思いが過ぎります。私が通っていたころは、以前にあった木造校舎でした。現在の校舎には娘二人が通い、次女は最後の卒業生になります。吉田小学校へは「141年間ありがとう」と言いたいです。



吉田小PTA 伊藤孝志さん

思い出づくりと学校間交流

●**わくわくフェスティバル**（9月29日）
 吉田小学校のプール横にある森で、ロープを使って木に登るツリークライミングを行いました。子どもたちは、指導者に登り方を習いながら、樹高10m以上もあるコナラの木に登り、校舎を見下ろして、その姿を目に焼き付けました。また、この

●**運動会**（5月25日）
 最後となった運動会では、スローガンを、感謝と思い出の意味を込めて「心を一つに 力を一つに」としました。1年生から3年生が行った「ありがとう吉田小学校」の演技では、学校のイメージソング「大きな空の下で」に乗せ、創作ダンスを披露しました。全校児童の力が一つになった運動会となりました。



▲運動会で踊った「ありがとう吉田小学校」



▲吉田小学校のプール横の森で行われたツリークライミング

吉田小学校と統合する 明智小学校の概要

◆住所 明智町 122 番地 2

◆学校規模

	現在	統合後(平成26年4月予定)
児童数	180人	228人
学級数	8学級	10学級(特別支援学級を含む)
教職員数	14人	16人

◆通学区域 明智町全域(統合後)



▲明智小学校の校舎とグラウンド